

特別回報

外航組合員各位

2023 保険年度の国際 P&I グループ再保険プログラムについて

2023 保険年度の国際 P&I グループ（IG）再保険プログラムが決定しましたのでご案内申し上げます。

1. 再保険スキーム

2023 保険年度の IG 再保険プログラムのスキームは以下のとおりです（2022 保険年度から変更はありません）。

- クラブ保有額 : 1 千万米ドル
- グループ保有額 : 1 億米ドル
- General Excess Loss (GXL) Cover : 20 億米ドル（1 億米ドルを超える 20 億米ドル部分）
- Collective Overspill Cover : 10 億米ドル（21 億米ドルを超える 10 億米ドル部分）

2. てん補限度額

以下の損害に対する 2023 保険年度のてん補限度額は以下のとおりです（2022 保険年度から変更はありません）。

- 油濁損害 : 10 億米ドル
- 船客の単体損害 : 20 億米ドル
- 船客と船員との複合損害 : 30 億米ドル

3. 悪意のあるサイバー攻撃、新型コロナウイルス、その他の感染症に起因する損害

2022 年度の再保険プログラムでは、5.5 億米ドルを超える部分について、悪意のあるサイバー攻撃、新型コロナウイルス、その他の感染症に関するてん補の制限がありました。交渉の結果、2023 年度はてん補範囲を拡大し、7.5 億米ドルまでのクレームについて無制限のてん補を確保することができました。

- Layer 1（1 億米ドルを超える 6.5 億米ドル部分） : てん補制限なし
- Layer 2 および 3（7.5 億米ドルを超える 13.5 億米ドル部分） : 上述の 3 つのリスクに関し、年間の累積回収限度額（合計 13.5 億米ドル）を設定

IG では、年間の累積回収限度額を超える損害について、IG のプール機構でカバーすることに合意しました。したがって、組合員の皆さまへ提供されるカバー自体に変更はありません。

スキームの詳細については、添付の表をご参照ください。

4. Excess War 再保険

ロシア・ウクライナ戦争を受け、IG の Excess War 再保険者は、ロシア・ウクライナ周辺の海域を航行する船舶に関し地域的なてん補除外（除外地域は、再保険者が戦争 P&I 保険に既に適用しているものと同一）を設けることを要求しています。IG は、影響を受ける船舶のために一定の金額までの保険カバーを確保できないか交渉しています。しかし、手配可能な保険カバーの限度額は、一般的な Excess War 再保険の上限である 1 隻あたり 5 億米ドルよりもかなり低い金額になる可能性が高いと見込まれます。このカバーの詳細については、追ってお知らせいたします。

5. 船種別 IG 再保険料率

IG における検討の結果、現在の 5 つの船種カテゴリーを変更する必要はないものの、過去のクレーム実績を考慮して再保険料率を調整すべきであるとの結論に達しました。

2023 保険年度の船種別 IG 再保険料率は以下のとおりとなります。

船種カテゴリー	2023 保険年度 再保険料率 (US\$/GT)	対前年比増減 (US\$/GT)	対前年比増減率 (%)
Persistent Oil Tankers	0.6663	+0.0194	+3.0
Clean Tankers	0.4051	+0.0385	+10.5
Dry Cargo Vessels	0.5991	+0.0352	+6.2
Fully Cellular Containerships	0.7277	+0.0691	+10.5
Passenger Vessels	3.8677	+0.0	+0.0

※Excess War 再保険および MLC 再保険に対する再保険料を含みます。

6. 更改経緯

これまでのところ、2022 保険年度のプールクレームの状況は穏やかなものとなっています。しかしながら、過年度のクレームの状況の悪化に加え、ハリケーン「イアン」やロシア・ウクライナ戦争により、再保険市場は大きな影響を受けることとなり、2023 保険年度の更改市況は厳しいものとなりました。そのような状況下ではありましたが、2023 保険年度の再保険プログラムにおける再保険料率の引き上げは最小限に留めることができました。

バミューダ拠点の IG の自家保険会社である Hydra が、引き続き再保険スキームの一部を保有することにより、IG を支えています。また Private Placement（複数年契約定額再保険）を活用することにより、特にハリケーンやロシア・ウクライナ問題、再保険市場がカバーを提供する範囲の見直し等の影響により再保険市場が不安定な年であっても、組合員の皆さまにご負担いただく再保険料への影響を軽減しています。

詳細につきましては、IG による[プレスリリース](#)をご覧ください。

以上

添付：2023 保険年度 IG 再保険プログラム

IG再保険プログラム（2023保険年度）

	<その他P&Iクレーム>								約85億4千万米ドル	4
	Pool (Overspill) (約54億4千万米ドル)								31億米ドル	
	Collective Overspill Layer (10億米ドル) Excess of underlying				<船客 + 船員クレーム>				30億米ドル	
									21億米ドル	
	3rd Layer **** (6億米ドル) Excess of underlying				<船客クレーム>				20億米ドル	3
									15億米ドル	
	2nd Layer **** (7.5億米ドル) Excess of underlying				<油濁クレーム>				10億米ドル	
					2nd Layer **** (2.5億米ドル) Excess of underlying				7.5億米ドル	
	*** 10% share	** 10% share	* 5% share	1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra	*** 10% share	** 10% share	* 5% share	1st Layer (6.5億米ドル) 75% share with annual aggregate deductible of \$107.1m being covered by Hydra	1億米ドル	2
	7.5% クレーム提起 クラブ保有			Upper Pool (5千万米ドル-1億米ドル covered Hydra)					5千万米ドル	
	Lower Pool (3千万米ドル-5千万米ドル covered Hydra)								3千万米ドル	
	Lower Pool (1千万米ドル-3千万米ドル)								1千万米ドル	
	クラブ保有								0	1

- 1千万米ドルまで
クラブ保有額と称し、各クラブの自己負担。
- 1千万米ドルから1億米ドルまで
プールと称し、IG加盟クラブが各々の分担率に基づき分担。
なお、プール部分のうち3千万米ドルから1億米ドルまではHydraへ出再。
- 1億米ドルから21億米ドルまで
Lloyd'sを中心とする再保険マーケットで再保険を購入。
(*、**および***は、Private Placementと呼ばれる複数年契約定期再保険)
1st Layerから3rd Layerに分かれており、各Layerごとに参加している再保険会社が異なる。
1st Layer: 1億米ドルから7.5億米ドルまで。
2nd Layer: 7.5億米ドルから15億米ドルまで。
3rd Layer: 15億米ドルから21億米ドルまで。
なお、1st Layerのうち、75%はマーケット再保険者に出再、同再保険カバーには1.071億米ドルの免責金額が設定されている。同免責額まではHydraがカバーする。

**** 悪意のあるサイバー攻撃、新型コロナウイルス、その他の感染症に起因する損害については、合計13.5億米ドルの年間累積回収限度額が設定されている。
2nd Layer: 年間累積回収限度額:7.5億米ドル（油濁クレームは1事故あたり最大2.5億米ドル）
3rd Layer: 年間累積回収限度額:6億米ドル
- 21億米ドルから約85億4千万米ドルまで
オーバースpillと称し、IG全クラブメンバーで分担し、その資金は各クラブがメンバーに請求する分担金（オーバースpill保険料）により賄う。
なお、オーバースpillのうち、21億米ドルから31億米ドルの部分についてはマーケットで再保険を購入しており、この部分については同再保険で賄われる。

なお、油濁損害については10億米ドル、船客にかかわる責任は20億米ドル、船客と船員にかかわる責任は30億米ドルの上限が設定されている。